

地方創生推進交付金平成 28 年度第 2 次申請について

平成 28 年 10 月 28 日
本 部 事 務 局

地方創生推進交付金平成 28 年度第 2 次募集において、下記の 2 事業を申請しましたので、ご報告します。

記

1 平成 28 年度第 2 次申請事業の概要

No.	事業名及び支援タイプ	事業概要			
1	地域の魅力を活かす 地域づくり事業 【横展開タイプ】	≪地域の魅力向上と交流人口増加事業≫ 関西エリアにおいて、宿泊客の分散化を図るための宿泊情報ネットワークを構築するとともに、統一交通パス等を用いた公共交通での移動の容易性の向上、高速道路の割引パスなどによる多様な移動手段の活用、地域の魅力を発信するための無料 Wi-Fi 拠点の拡大などの取組を通じて、住民や観光客等の広域的な移動を生み出すための仕組みづくりを総合的に推進する。これにより、都市と各地域の交流を促進し、各地域の魅力に接し体験できる機会を拡大させることにより、各地域の更なる活性化と交流人口増加を加速化させる。			
		≪地域の魅力を伝える人材育成事業≫ 外国人観光客の増加に伴い、各地での観光ガイドのニーズに対応するため、通訳案内士、各地で活躍する観光ガイド、外国語が堪能、海外の慣習等に精通する人材を育成するとともに、人材DBを作り、各地のDMOや観光関連団体、国内外の旅行事業者へ情報提供する人材バンク事業等を行う。これにより、地域に偏在する観光ガイドの広域的活用と、各ガイドを通じた各地域の魅力の発信から、地域の活性化、関西観光の魅力アップを図っていく。			
		総事業費（交付申請）		年度別事業費（交付申請）	
		100,000 千円 (50,000 千円)	28	1,000 千円 (500 千円)	
2	都市・多自然地域交流 支援事業 【横展開タイプ】	≪人材バンクを活用した都市と多自然地域との交流≫ 地域づくりのキーパーソンによるネットワークを構築し、都市部の田園回帰に関心のある若者等とともに人材バンクを創設のうえ、アドバイザーや応援隊として多自然地域に派遣し、住民主体の取組を支援するモデル事業の展開を通じて、地域の活性化を支援する。			
		≪交流・移住促進支援情報の発信≫ 関西の魅力や交流・移住の後押しとなる様々な情報を発信するとともに、試行的に東京圏で開催する移住に関する相談会等を通じて、今後の移住促進支援に活かす。			
		総事業費（交付申請）		年度別事業費（交付申請）	
		15,350 千円 (7,675 千円)	28	450 千円 (225 千円)	
		29	4,800 千円 (2,400 千円)		
		30	10,100 千円 (5,050 千円)		

2 交付の決定

交付対象事業の決定は 11 月中旬、交付決定は 11 月下旬

<地方創生推進交付金の支援概要>

支援タイプ	先駆タイプ	横展開タイプ、隘路打開タイプ
申請事業数 ^(※1)	2 事業まで（構成団体の申請事業数の「目安」の内数としてカウントすることはしない）	
必要要素 ^(※2)	自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携の 4 要素が不可欠	自立性+官民協働、地域間連携、政策間連携のうち少なくとも 2 要素が不可欠
計画認定期間	5 か年度以内	
交付金額 ^(※1)	1 事業あたり国費 2 億円を上限 (事業費ベース 4 億円)	1 事業あたり国費 5 千万円を上限 (事業費ベース 1 億円)

※1：主に都道府県から構成されている広域連合等の場合

※2：隘路打開タイプの場合、制度上の隘路を発見し、それを打開する方策の説明が必要